

ワンポイント家庭の医学

高血圧

人のカラダは、全身血液が流れる事により代謝し、つくられています。

この血液を送り出すポンプの役目をするのが心臓です。

心臓が収縮し血液を送り出した瞬間の動脈の血管壁に与える圧力のことを収縮期血圧（最高血圧）といい、心臓が収縮した後に拡張してカラダを流れる静脈血からまた、心臓に戻ります。

この時にも、動脈内の血液はいくらかの圧力を動脈壁に与えますが、これが拡張期血圧（最低血圧）です。

では、何故高血圧が起こるのでしょうか？

高血圧には、2種類あって原因がハッキリしている物を二次性高血圧といい、原因のハッキリしない物を本態性高血圧など度分けています。

その中で、95%以上は本態性高血圧です。つまり、原因はよく解らないと言うのが本当のところですよ。

そして、医学書には大抵遺伝に関係するなどと書いてあるのです。

しかし、この常識とされていたことも今覆されようとしています。

まず、本態性高血圧の人は栄養良好で顔面や皮膚が紅色でいわゆる多血質の人がほとんどです。

今までは、この血中の血液量の過多を問題にすることはありませんでした。

美食、大食して胃腸が丈夫なひとは、腸造血が盛んに行われ血液は血球が多く、量も多量に生産されます。

つまり、血液量が多いと言うことは、血管の内圧を高めひいては血管壁の肥厚、硬化を招く事になるのです。

本態性高血圧の原因は、美食、大食と精神的ストレスに加え運動不足の人に多いのです。

つまりは、生活習慣によって自分で創った病気である訳です。

現代医学の治療といえば、血圧降下剤であるローウォルフィアやセルベンティナ、メトロプロミンなどを使う

かもしくは、鎮静剤であるプロムラル、パンビタール、ルミナール

などの薬物による対処療法しかありません。

しかし、最近は、これらの連用による副作用が問題視されてきています。

心臓や神経系等に致命的な障害をきたす危険性も含んでいるのです。

健康とは本来自分で創るもので医者が治すことはないのです。